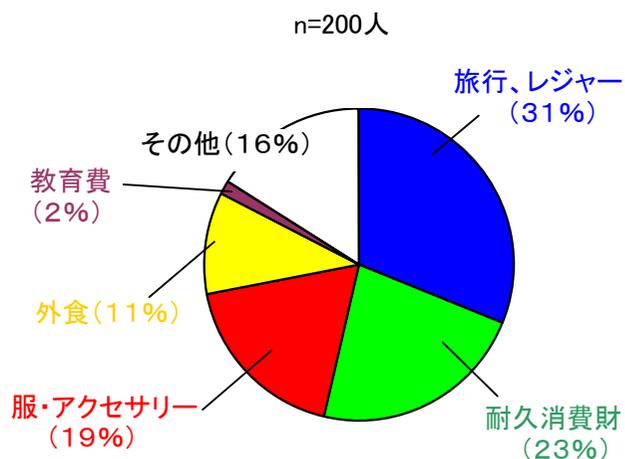


設問3. ■前問で、「全額を買う予定のなかった商品やサービス購入に使う」／「半分くらいを買う予定のなかった商品やサービス購入に使う」とお答えの方に伺います■／「買う予定のなかった商品やサービス」とは、下記のうちどれが一番近いですか。(Q7)

結果：給付金を「買う予定のなかったものを使う」ひとの購入対象は、多い順に「旅行・レジャー(31%)」、「耐久消費財(23%)」、「服・アクセサリ(19%)」、「外食(11%)」であった。(Q6、Q7より)
この結果から読み取れることは、以下の通り。

※ 定額給付金の追加的消費対象として最大の項目は「旅行、レジャー」であった。年齢階層別に見ると、50代や60代の比較的所得が高い層やアクティブシニアにおいて平均値より高い数値が得られた。20代の若い年齢層では平均値より低い値が得られた。耐久消費財の割合がこれより低いのは給付金のボリュームが小さいからであると思われる。



年齢層別 (%)	調査対象 全員	追加的消費を考えている人		B/A
		(A)	旅行、レジャー (B)	
合計	1000人	200人	62人	B/A
20才未満	0.5%	0.5%	0%	0
20代	15.3	13.0	8.1	0.6
30代	38.9	36.0	35.5	1.0
40代	30.3	28.0	29.0	1.0
50代	11.5	14.5	16.1	1.1
60代	2.6	5.5	9.7	1.8
70才以上	0.9	2.5	1.6	0.6